

3巡目以降の定期点検に向け、 引き続き検討すべき事項(案)

3 巡目以降の定期点検に向け、引き続き検討すべき事項

以下の項目については、引き続き検討が必要

【運用について】

性能の見立て(推定)の実施、記録を適切に行うことができる人材の確保

(例)・研修の充実

- ・点検要領改定の趣旨が反映された、国交省登録技術資格の認定要件の見直し
- ・適切な点検計画を策定するノウハウのマニュアル化や事例の共有
- ・メンテナンス会議の活用

【措置について】

対症療法だけでなく、性能の確保、改善の観点から効果的な措置が行われるための基準類の充実

(例)・道路橋の修繕に関する技術基準の策定

- ・事例の充実

【マネジメントについて】

継続的に、修繕等の効果と説明性が改善されていくための仕組み作り

(例)・維持管理(点検、修繕、補強)なども含めた計画的な実施、更新に関する技術的な助言の実施

- ・xRoadやデータの活用、計画策定のための研修の充実
- ・データの分析や活用にかかわる調査研究の充実